

令和2年度第1回宮代町観光ビジョン策定検討会議議事録

- 日時：令和2年11月11日（水）15時00分～16時50分
 - 場所：進修館小ホール
 - 参加者：嶋田知恵子、中嶋庸子、千葉美香、千葉庄一、小矢島恒雄、
山本豊、岩岸悟
- <事務局>井上課長、野口副課長、山内主査
傍聴者：0名

- 1 開会
井上産業観光課長挨拶
- 2 任命書交付
- 3 前回までの確認
- 4 会議内容
観光モデルの検討

千葉庄：良品計画の研修で、今回の観光ビジョンの中間報告書の観光モデルが具体化されていた。また、具体的には駅西口から新しい村までの構想があり、例えば宿泊施設対策でグランピングなどが出ていた。実際に良品計画が関わっており、宮代町をイメージして計画されている。わざわざこの会議でモデルを作らなくても、町と良品計画で計画ができていないのではないか。

町：今、千葉さんから話があったのは、駅前への出店が決まっている良品計画のことである。良品計画は、地域密着型の店舗を考えている。今回はあくまで民間の会社である良品計画の研修である。報告書が共有できるものではないが、宮代寄りと考えてもらっていると感じた。実際に実施されるかは担保されていない。そのため、この観光ビジョン策定検討会議でも事業のアイデアを検討してほしい。

町：農と食をコンセプトにした発表が先日あったことも事実である。具体的に事業化していくかというのは、また別の話である。皆さんと話をしたのは、本来であれば町全体を観光地にしようとしたいが現実的に難しい。(3)の参道はとてもいいと思っている。ここに来た人に宮代町を認知していただければ、広がっていくと思われる。まず、知ってもらうために、この西口を中心とした展開が必要だということを皆さんで共通理解してほしい。新しい村は、コロナの影響とっては変だが、2月、3月から売り上げが上がっている。GOTOが始まって減らない。魅力を感じていただけているというのが一つ。あとは意外と知られていなかったということがわかった。西口に来た人をキャッチして拡散していくかが大事。次回は参道について事業として深掘りしていくということによいか。

小矢島：西口から新しい村へのストリートを強くしていくためにはどうしていくかという

こと。現状分析が必要である。東武動物公園は営業計画などができていると思うし、売り上げが高い時というのはわかっていると思う。年間を通してお客様が宮代町をまわれる時期を整理すればいいと思う。1年間の中で強い時期を把握するべき。

町： そういった案をたくさん出していただければと思う。年間のイベントカレンダーを作成するといろいろなほかのイベントを周知できる。東武動物公園がメインになってくると思うがいかがか。

中嶋： たまたまだが花火をやっている日に町民まつりがあつたりして、東武動物公園のお客さんが町民まつりに流れていっているということがあり、いい雰囲気になっている。

小矢島： 新しい村さんも、花火の時は遅くまで営業していらっしゃる。そういうのが地域の住民にはうれしい。こういったことをすることでお金の流れが変わってくる。

中嶋： 園としては、団体をイルミネーションに呼びたいと考えているが、イルミネーションは駅側がメインで実施しており、バスが入る白岡側の駐車場では遠いという課題がある。

町： 新しい村が園内に出店できないか。

千葉美： イベントの時とか以前はやっていた。

中嶋： 東武食品サービスの売店に、宮代町の特産品を置くコーナーをつくることは可能だが、お知らせすることが重要。

千葉庄： この参道づくりは、最終的に新しい村に人が来ないと意味がない。来年度は、駅前に良品計画などができて、明らかに人の流れが変わる。これによって参道も変わってくる。コロナで人の状況も変わっている。道路もいろいろできるようになっているので、キッチンカーをドーンと並べるなどしたらよい。

町： 千葉さんの言うとおりの、国土交通省のほうで道路の規制緩和を行っている。社会実験として行っているところがある。ただし、道路だけ整備しても実施する人がいなければ意味がない。

千葉庄： これは商工会にかかっている。キッチンカーを誘導することで参道もでき、小さな商業者の方も望んでいる。商工会の取り組みがあり、新しい村へのルートを作る。良品計画は、東武動物公園に100万人来ていることを知っている。取り込みたいと思っている。

町： 新しい村まで引っ張っていく宣伝、看板をどうしていくかが参道だと思う。

嶋田： 何かやるにしても、誰が管理していくのかという問題が出てくる。そうすると、主催団体をどうするかが問題。アイデアは出てくるが実際に落とし込むとなるといろいろな課題があり、実行に踏み切れない。昨年の報告書にもあるとおり、核となる団体をどうするのかということをしっかりしていけないとクリアになっていかない。事業はお金がかかるものだし、どうやって収支を合わせていくのか

大事。ただ、アイデアを出し合って取り組んでいくことも大事。

町： アイデアが出てきて、それをやる団体を作っていかなければ先に進まない。わくわくロードの事業の中でも検討して行く予定。

小矢島： 観光案内所ということか。

町： 案内所でなくても何か駅前に欲しい。

小矢島： 近隣には宮代町を除いて観光協会がある。

千葉庄： やる意思がなければやっても意味がない。すでにこの先が見えている。

山本： 西口に人が集まるので、散策マップを作成して配ることで、町を手っ取り早く周知できるのではないか。例えば、20分コース、40分コースで建物を見て回れるとか、自然を探索できるなど、写真スポットの紹介のルートマップがあるというのではないか。

小矢島： また、マップの中に飲食店を休憩所として記載するなどもいい。

町： 活用していけるマップを作成し、実際に楽しめるようにするのが課題。いいマップは、マップ通りに歩くことができる。誰がやるのか、だれが責任を取るのか、だれが動かすのか、っていうのが宮代町の課題である。市民レベルでやるべきものでなく、業としてしっかりやっていくのがいいが、すぐに作ることはできない。今後もこの議論を進めていくことになる。

岩岸： 1年間分析されて改めて宮代町の良さがこの報告書に凝縮されている。観光素材、集客力、アクセスなど観光を総合的に見たとき、これだけの観光ポテンシャルがあって、推進する団体がいないのはおかしい。ほかの地域のように観光の受け皿の窓口がないのはもったいない。最終的にはそういう組織を目指して行ってほしい。駅西口に大型商業施設ができると、新しい村とバッティングしないかが心配。商工会や商店がこちらに引っ張られてしまうのではないか。また、町内の商店などが東武ストアに出店するといったことはあるのか。

町： 新しい村に出していた生産者が、東武ストアに出すという変化はあるかもしれない。

岩岸： 差別化するために頑張らないといけない。集客という強みもあるが、強みと弱みは背中合わせである。西口に引っ張られて、新しい村に行かなくても大丈夫と思われないか。だから準備していかなければならない。単純に観光的要素として新しい村でしか買えない、接客、サービスいうところに落とし込まれる。東武動物公園は、安定した集客力があり、逆に、新しい人が駅前に来れば取り込みことができるかもしれない。駅前で止まってしまうといやだなと思ってしまう。宮代町は、外側から見るとイベントがたくさんあって、圧倒的にアクセスも良い。街案内などもあるとぶらぶらできてよい。年間カレンダーにして、宮代に行けば何かあるぞという風にしていけばいい。そうすると、観光的にはほかの地域と勝負することができるのではないか。圧倒的なアクセスが大きな武器になる。

宿泊がないのは致命的だが、それはしょうがない。新しい村は魅力がたくさんある。グランピングやキャンプなどで集客できれば。新しい村は何が売れているのか。

千葉美：全体的に売れている。コロナ禍で、まずはお米がなくなってしまうという騒動から始まり、野菜、と続いている。実際に新しい村を知らない方が多く、ネットで調べて来てくれたお客さんが多い。今は、お弁当が売れてすぐになくなってしまふ。屋外だから安心して食べられるという意見が多い。

岩岸：外に行きたくてしょうがない。この傾向はこれから2年ぐらい続くと思う。新しい村は来訪される可能性が高い。夏には埼玉県物産観光協会で作らせてもらった。参道を中心に計画を練り、体験プログラムをブラッシュアップしていきたい。いろいろなネット等で発信していきたい。

町：東武ストアも良品計画も、町と相乗効果でやっていきたい。我々が観光協会だとして、西口に足止めするためにはどうしたらいいかを考えていければいい。土地と建物を持っている人たちも巻き込んでいければ。

岩岸：今後数年は、近場観光の需要が増加していくのではないかな。

町：新しい村は、マイクロツーリズムの先駆けになっている。

中嶋：東武動物公園は、来場者数はほぼほぼ戻ってきている。東武動物公園は、現在アニメコラボが人気になっている。お彼岸の時などは、周辺道路がすごい混雑してしまった。

岩岸：ネット販売なども宣伝の一環として最低限は実施していかないと消費者に忘れられてしまう。

千葉庄：今後のコロナ対策はどうなるのか。

千葉美：お客様が来ていただいてうれしいが、新しい村では、コロナの感染拡大が怖いのでイベントはあまり行っていない。

中嶋：遊園地協会のガイドラインに沿って運営している。大きなイベントは、時間を短縮したりしている。来年に備えて試しにやっていることにしている。

5 次回の会議日程について

→次回は、12月16日（水）15時～ 進修館研修室

6 閉会